

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	利用者の重度化により、軽度の要介護度の利用者に対するサービスの質が低下している。	①軽度の要介護利用者に接する機会を増やし、喜びや楽しみの時間を増やす。	①レクリエーションを充実させる。 ・フラワーアレンジメント(第1木)、カラオケ(第2木)、書道教室(第3木)、外食会(第4木)等を実施する。 ・利用者の表情や意見、希望を聞き、満足度によってはレクリエーションの内容を変更する。 ・今までフロア毎のレクを1・2階合同にすることで職員不足を補う。またボランティアの協力も得て、レクを充実させる。	6ヶ月
2			②利用者ができることを把握し、利用者個々の力が発揮できる施設を目指す。	②利用者に生き生きと生活して頂く。 ・利用者一人ひとりの意向や出来ることの把握に今まで以上に努め、役割を与え、やりがい、生きがいを感じていただく。 ・3ヶ月後に評価することで、レベルに合ったサービスが受けられているかを検討し、サービスの質の向上を図る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。